



## 環境科学部フィールドワークスクール参加者募集



今年度実施の環境科学部フィールドワークスクールは、下記のように全 3 回のフィールドワークを実施するように改めました。地域の環境を考え、地域の環境保全活動に参加できる良い機会ですので、奮って参加されることを強く希望します。いずれも、8:30 に環境科学部玄関前に集合し、バスで現場へ出かけます。参加希望者は、中川 ([kei-naka@nagasaki-u.ac.jp](mailto:kei-naka@nagasaki-u.ac.jp)) まで、学年、学籍番号、氏名、参加する回を書いて、今すぐ申し込みましょう！

### ■第 1 回 11/15 (引率：中川教授)

NPO 法人奥雲山の自然を守る会・九州郷づくり共助ネットワーク研究会の活動に合流し、ミヤマキリシマ保全活動(草刈等)・地域支援のあり方討論会に参加。

(草刈りののできる服装で参加すること)

----- 本研修は、建設コンサルタンツ協会の若手研修会の一部ですので、将来、環境コンサルタント業界への就職を考えている諸君の人脈作りにも役立つものと思われます。

### ■第 2 回 12/14 (引率：馬越准教授)

フィールドワーク in 島原市、大野希一氏(島原半島ジオパーク協議会事務局次長)の案内により、日本最大の火山災害である 1792 年の島原大変と 44 名の犠牲者を出した 1990-1995 年雲仙普賢岳噴火の遺構を巡り、火山災害の実態と火山と共生するまちづくりについて学びます。

### ■第 3 回 1/11 (引率：黒田准教授)

フィールドワーク in 南島原市、第 2 回に引き続き、大野氏の案内による南島原市を対象としたフィールドワークを実施します。ここでは、430 万年前から今に至る火山活動の痕跡の観察を通して、島原半島の成り立ちについて理解を深めます。

評価：全 3 回参加した場合で、単位取得(1 年生は地域環境実習 A または B、2 年生以上は自由選択科目)を希望する学生は、2/15 までに、参加したフィールドワークについてのレポート課題を中川に提出してください。内容は、それぞれの回の具体的な活動内容、およびその活動を通じて自分なりに考えたこと、調べたことを、A4 レポート用紙に取りまとめること。提出されたレポートの内容をもとに評価します。なお、この単位付与に関しては、それが認められるよう現在、申請中です。



(引用：九州郷づくり共助ネットワーク研究会 <http://www.jcca.or.jp/kyokai/kyushu/q-sato/unzen.html>)

■申込&問合せ：環境教育研究マネジメントセンター・中川 ([kei-naka@nagasaki-u.ac.jp](mailto:kei-naka@nagasaki-u.ac.jp))